

2024年1月23日
NOK株式会社

NOKの防振・防音製品5種類を実装したEV車両 NOK鳥取事業場、「鳥取県産EV」の実験走行を1/22より開始 地元・南部町でのEV普及促進の足掛かりに

NOK株式会社(本社:東京都港区芝大門、代表取締役 社長執行役員 CEO:鶴 正雄、以下「NOK」)の鳥取事業場(鳥取県西伯郡南部町)では、鳥取県のプロジェクト「EV実装評価プラットフォーム」の実験走行を1月22日(月)より開始いたしました。NOKの防振製品を含め、鳥取県内の企業が造った素材や部材を実装した電動車(EV)を南部町内で走行し、モニター評価の結果を今後のEV向け製品の開発や実装に向けて活用いたします。



実験走行開始式の模様

走行開始に先立って、1月22日(月)に、セレモニーをNOK鳥取事業所で執り行いました。左より、佐々木 徹氏(鳥取県商工労働部 経済産業振興監)、陶山 清孝氏(南部町町長)、鹿野 努(NOK鳥取事業場 執行役員 鳥取事業場長)、鷺尾 雅文(TVC 代表取締役社長)

実験走行では、NOKグループの社員が本EV車両を南部町内での移動に使用いたします。町内でEV車両が目に触れることで、南部町民の環境意識向上やEVの認知度向上など、EV利用の普及促進の一助になることを目指します。

■鳥取県「EV実装評価プラットフォーム」について



国内外で加速しているEVシフトに対応し、県内サプライヤー企業のEV等エコカー技術市場への参入を支援するため、2023年7月より始まった取り組みです。県内企業が開発した技術・素材・部材を実装したEV車両を実験的に走行させ、EVメーカーからの評価と、ユーザーからの声を集め、評価を分析し、さらなる技術開発に向けて県内企業へ還元する仕組みです。

NOKからは、鳥取事業場で生産している防振・防音ゴム製品5種類のブッシュが本EV車両に実装されています。また、本取り組みへの参加により、県内企業との連携が深まり、EV製品に実装させるための軽量化に向けた新素材の検討などが進んでいます。

■実験走行開始に際して、南部町長および NOK 鳥取事業場長のコメント

・陶山 清孝 南部町町長

「南部町の中で EV が実際にどのように使われ、そしてこれからの社会の中で新たなモビリティがどのような活躍をしていくのか、時代の変革にこの街をどのように合わせていくのか」ということを私たちも考えていかなければいけないと考えています。高齢化社会が進み、交通事故も増えている中、今後の公共交通の在り方や本日から走行する EV や小型モビリティの扱い方などを、皆さまと共に考えるきっかけになることを期待しています。

・鹿野 努 NOK 株式会社 執行役員 鳥取事業場長

自動車業界の急速な EV シフト化と政府方針である「2050 年カーボンニュートラルの実現」に向けて、私たちは鳥取県・南部町および県内産業と協力し、防振製品を実装した EV 車両を南部町で実験走行します。この実験車両は、NOK 鳥取事業場構内に設置した太陽光だけで稼働する EV ステーションで充電され、脱炭素技術の評価にも役立ちます。本取り組みにより EV 社会に向けた防振技術および開発技術を高めると共に、今後の社会インフラなどに対してどのような価値を提供できるか模索していきます。

リリースに関するお問い合わせ

NOK 株式会社 コーポレートアフェアーズ室 コーポレートコミュニケーション部
TEL:03-5405-6372 Mail:mb_nok_corporate_affairs@jp.nokgrp.com

■NOK 株式会社

事業内容：シール製品・工業用機能部品・油圧機器・プラント機器・原子力機器・合成化学製品・エレクトロニクス製品・その他の製造・仕入・輸入・販売ならびに機械器具設置工事等、上記に付帯する業務

本社：〒105-8585 東京都港区芝大門 1-12-15